

VSOLJ ニュース(383) いて座に新星が出現、中村さんが独立発見

著者：前原裕之(国立天文台)

連絡先：hirozuki.maehara@nao.ac.jp

いて座の中に今年 3 個目の新星が発見されました。最初にこの新星を発見したのはオーストラリアの Andrew Pearce さんで、7 月 15.459 日にいて座を撮影した画像から 10.3 等の新天体を発見しました。さらに、三重県亀山市の中村祐二さんもこの天体を 15.522 日に 9.6 等で独立に発見したことが報告されました。発見者の Pearce さんの観測によると、この天体の位置は

赤経: 17 時 52 分 49.30 秒

赤緯: -20 度 24 分 15.5 秒 (2000.0 年分点)

です。また、S. Korotkiy さんらのグループによる観測ではこの天体は発見前日の 7 月 14.8 日ごろにはすでに 13 等台に増光しつつあったことが分かりました。この天体の分光観測は O. Garde さんら天体のスペクトル観測を行なっているアマチュア天文家グループ 2SPOT (Southern Spectroscopic Observatory Team) によって 15.979 日に行われました。その結果によると、この天体のスペクトルには P Cygni プロファイルをもつ幅の広い水素のバルマー系列の輝線がみられることが分かりました。また、H α 線の P Cygni プロファイルの吸収成分は輝線のピークに対して秒速 4100km ほど青方偏位していることも分かりました。このようなスペクトルの特徴から、この天体が古典新星であることが確認されました。

TOCP や vsolj-obs メーリングリストに報告された吉本さんや清田さん、森山さん、広沢さん、伊藤さんらによる発見後の観測によると、この新星は発見された 15 日夜には 10 等台でしたが、16 日夜には 11 等台後半まで急速に暗くなりました。また、AAVSO に報告された観測データによると 18 日夜には 13 等まで減光したようです。

この新星にはいて座 V6598 (V6598 Sgr) との変光星名が付けられましたので、以後の観測報告にはこの名称をお使い下さい。

2023 年 7 月 19 日

参考文献

CBAT "Transient Object Followup Reports" TCP J17525020-2024150

CBET 5278: V6598 SAGITTARII = TCP J17525020-2024150

Garde, O., et al., 2023, ATel #16038

vsolj-obs 83560, 83561, 83563

AAVSO WebObs Search (<https://app.aavso.org/webobs/search/>)